

神話伝説の山里

# 「高千穂郷」通信

平成21年9月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.81

## 五ヶ瀬町共生型福祉施設 「ぬくもり」開所



旧桑野内小学校を改装した共生型福祉施設「ぬくもり」(五ヶ瀬町桑野内)



開所式であいさつする内炉保西臼杵支庁長

平成15年度に廃校となった五ヶ瀬町立桑野内小学校の校舎が、共生型福祉施設「ぬくもり」として改築され、9月29日に開所式が行われました。施設は10月1日にオープンし、一人で生活することが不安な高齢者が共同で暮らす生活支援ハウス、デイサービス、障害者向けの作業所の3つが併設され、五ヶ瀬町社会福祉協議会が運営することとなっています。当初は生活支援ハウスとデイサービスのスタートとなり、今後、機能が拡張される予定です。

廃校舎を共生型の福祉施設として再活用することは県内初の取り組みであり、町内の福祉の増進とともに、地域コミュニティの再生・活性化の核となる施設としても大いに期待されています。

## 「長寿者訪問」 ご長寿おめでとうございます

百歳以上の長寿者を県民挙げて祝福するため、西臼杵郡内の今年度百歳及び百五歳到達長寿者を内柵保支庁長が訪問し、内閣総理大臣及び知事からの祝い状と記念品を贈呈しました。

今年度百歳を迎えられるのは、甲斐徳三郎さん、馬原理成さん、田上タマエさん、甲斐トリさん（以上高千穂町）、甲斐チハエさん（日之影町）の5名です。

百五歳を迎えられるのは、工藤久雄さん、木田サカエさん、吉村ミヨさん（以上高千穂町）の3名です。ご長寿、おめでとうございます。



今年百歳を迎えられる馬原理成さん（写真左）、田上タマエさん（写真右）

## 森林環境税西臼杵地域意見交換会が開催されました

9月13日に林業関係者や一般県民など約50名参加のもと「森林環境税に関する意見交換会」が西臼杵支庁で開催されました。

意見交換会では、県から森林環境税の制度とこれまでの取組について説明があったあと、森林ボランティア団体「高千穂森の会」興相幸男（こうろきよしお）さんと西臼杵森林組合の甲斐次延（かいつぎのぶ）さんから森林環境税を活用した森林ボランティア活動や企業による森林づくりなどの事例発表が行われました。

その後の意見交換では、「都市部の住民が森林にふれあう機会が少ないので、都市と山村の連携による森林づくり活動を推進してほしい」、「森林環境税をもっとPRしてほしい」などの要望のほか、森林環境税を使った事業と一般事業との違いなどについての質問がありました。

また、間伐材を利用した遊歩道の整備や薪ストーブなどのバイオマス利用への助成など税の使途に関する意見もありました。

県では、森林づくりに重点を置いた取組に対して森林環境税を活用していますが、新たな分野での事業展開についても他県での取組事例を参考にしながら、西臼杵地域をかわきりに県内8箇所で開催される地域意見交換会や「森林環境税活用検討委員会」の意見を踏まえ、今後の税のあり方や使途について検討されることとなっています。



森林組合による事例発表



参加者から貴重なご意見をいただきました



## 獣害対策技術実証ほを設置しました

8月28日(高千穂町上野) 8月30日(五ヶ瀬町鞍岡) 9月5日(日之影町分城)に、それぞれ集落の方々と「西臼杵支庁鳥獣害対策プロジェクトチーム」のメンバーで獣害対策技術実証ほの設置を行いました。

高千穂町ではサルの侵入防止電気ネット、日之影町と五ヶ瀬町では斜め垂らしネットと遮光ネットを組み合わせたイノシシ・シカ侵入防止柵の実証試験を行います。

今後、「西臼杵支庁鳥獣害対策プロジェクトチーム」では管内鳥獣害対策の現状分析や対策の検討、並びに集落の獣害対策マップの作成支援などを行うことにより「獣害に強い集落づくり」を推進していきます。



獣害対策実証ほ設置の状況

## 西臼杵型放牧ネットワーク研修会

8月31日、西臼杵郡内で放牧を実施している農家と関係機関が集まり、放牧の研修会を行いました。現地研修会では高千穂町田原で放牧している2箇所の放牧地を実際に歩き、放牧地がどんどん拡大していく様子にみなさん驚かれていたようです。

これからも技術情報の交換を図りながら、放牧の推進に努めていきます。



現地研修会の様子

## 三ヶ所神社例大祭

県の「一村一祭」に選ばれている五ヶ瀬町の「三ヶ所神社例大祭」が9月27日に開催されました。

同祭では、400年以上続いてきた国の重要無形文化財「荒踊」が奉納されます。当時の武者装束をまとい、火縄銃をはじめ、槍、弓などの武器を手にして、古式ゆかしく勇壮活発な踊りが行われました。



勇壮活発な「荒踊」

## 観月の夕べ 神楽体験ツアー

9月12日に高千穂町岩戸の「神楽の館」で観月の夕べ神楽体験ツアーが行われました。この催しは岩戸の五ヶ村村おこしグループ(工藤正任代表)が地域活性化を目的に、国民宿舎ホテル高千穂と合同で毎年開催しているものです。

県内外から参加した約60人の観光客は、煮しめなどの神楽料理やカッポ酒を楽しみながら、屋外に設置された特設ステージで行われた神楽を鑑賞しました。

また、参加者のうち4人が神楽「七貴神」を体験し、個性あふれる舞いを懸命に舞っている姿が、笑いや拍手を誘っていました。



特設ステージで舞われた勇壮な神楽

## 天岩戸神社秋季大祭

古事記神話にゆかりの深い高千穂町の天岩戸神社の秋季大祭は、神話のまち高千穂らしい古代のロマンを感じる祭りです。9月23日には岩戸を引き開けたとされる手力男命(たちからのおのみこと)にちなんで、力自慢を競う岩戸投げ大会が行われました。

また、会場では岩戸投げ大会の後、地元の方々による演芸大会が開催され、大いに賑わいました。



力自慢を競う「岩戸投げ」



【お知らせ】

せきりょう  
九州脊梁山地シカ広域一斉捕獲について

本県をはじめ、熊本県、大分県、鹿児島県の山間部では、シカによる農林業被害が発生しており、森林や農作物に深刻な影響を及ぼしています。

このため、農林業被害の軽減を図りながらシカの健全な個体群の安定維持を目的に、西臼杵3町を含む県境の27市町村において九州四県合同のシカ広域一斉捕獲を実施します。

不慮の事故を防止するため、入山する際には目立つ衣服を着る等、十分に御注意いただくとともに、一斉捕獲日には、県境付近の林野への入山は御遠慮ください。

皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

捕獲強化期間：10月11日(日)～25日(日)  
一斉捕獲日：10月18日(日)、25日(日)

お問い合わせ先  
西臼杵支庁林務課 TEL 0982-72-3178



シカによる皮剥を受けた造林木

宮崎中山間ネット開設

県では、県内の中山間地域の現状や元気な集落づくりに取り組む「いきいき集落」の活動内容、中山間地域にあるおでかけスポット、更には、現場で頑張る駐在員(県職員)のブログなど、中山間地域の様々な情報を発信する「宮崎中山間ネット」を開設しました。

アドレスは、以下のとおりです。  
宮崎中山間ネット <http://www.chusankan.net/>

主な内容は次のとおりとなっています。

- 1 中山間地域の概要
- 2 いきいき集落
- 3 おでかけスポット
- 4 駐在員ブログ  
是非、御覧ください。



高千穂ひのかげくり贈呈

9月2日にJA高千穂地区果樹振興会くり部会より内杵保西臼杵支庁長へ「高千穂ひのかげくり」の贈呈がありました。

今年は、例年よりも1週間ほど出荷時期が早く、品質は良好で、出荷されたくりは、主に岐阜県中津川市のお菓子屋などの菓子原料として使用されます。

また、来年7月には、当地区で全国くり研究大会が開催されます。



贈呈される馬崎英明部会長と門村政昭副部会長

敬老祝賀会

9月25日に日之影町の特別養護老人ホーム青雲荘で敬老祝賀会が開催され、今年104歳になられる押方ヨシエさんをはじめ施設入所者とその御家族などが出席されました。

アトラクションでは、旭ヶ丘保育園児による和太鼓の演奏が披露され、入居者をはじめ参列されている皆様が熱心に聞き入っておられました。

超高齢化社会を迎えるなかで、私たち一人ひとりが高齢者の皆様に敬う気持ちを忘れず、社会全体で御高齢の方々の生活を支えていきたいと思っております。



旭ヶ丘保育園児による和太鼓アトラクション

編集後記

西臼杵では、秋らしい日が続いています。もうそろそろ長袖のシャツを出さないといけないかなという感じです。朝方冷え込んでくると「雲海」を見ることが出来る日が希にあります。高千穂に住んでいますが、まだ、一度も見たことがありません。今年こそは、寝ぼけ眼をこすりながら、見に行こうと思っています。 博

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)